

国労東北自動車支部

発 責
北山修司
編 責
教 宣 部
NO,28
2014.5.16

国労加入
で職場を
変えよう

「若干のベアを考えている」

第2回賃金交渉開催

回答間近!

5月12日(月) 15時よりバス東北社会議室において第2回賃金交渉を行いました。賃金改善について「若干のベアは考えている。」としながらも夏季手当については「例年通りにはいかなない。」と厳しい考え方が示されました。尚・回答日は、5月中旬ごろ予定です。(以下、交渉内容要旨)

会社・申し入れについては減収減益ということまで至らないと思う。定期昇給はやる。また、将来を考えると若干のベアを考えている。

組合・例年、5月半ばに回答となっているが現段階ではできないのか。

会社・例年通りと考えている。作業が6月25日と決まっているのでここに合わせることになる。

組合・東日本は5/1プレス発表で決算発表しているが子会社も方向性としてできているのではないかと。

会社・株主総会が終わってからになるので7月になる。

組合・以前は営業費用の中身として人件費や減価償却費等出していたが今回は出していない。

会社・内訳の割合は前と変化はないのでそれを見てほしい。人件費は26億円きっている状況だ。

組合・減収減益でも経常利益は下が

っていない。

会社・経常利益は上がっているが収入は下がっている。そのような状況の中で設備投資やガソリン代、高速代が上がり効率的にやっていたいかなければならない。

組合・この間、収益を確実に確保しながら推移しているのは事実だし、6年前、東日本がベースアップをし、バス関東も行っている。バス東北はこの間まったく行っていない。ベースアップをするということが現場の士気を高めることになる。

会社・日頃の皆さんの頑張りで収益もあるし、地場的な産業を見た場合、採用も厳しくなっていくことを考えれば、やれるところはやっていかなければならない。ただ、JRバスグループ各社がそうなっていないのではないかと。人材確保するためにやりたくてもやれない会社もある。

会社説明より

- 1) ゴールデンウィークの輸送状況は対前年 94%
- 2) 7月より運賃の見直し
仙台—青森、仙台—弘前
- 3) 十和田湖輸送について
夏輸送終了後、田代平ルート
を休止。酸ヶ湯まで運行
- 4) 仙台駅東口、6月中旬ごろオープン予定

組合・この間、会社は人材確保というところで制度改正も含めてやってきている。制度の運用面で意見の相違はあるが人材確保という面では共通している。昨年、新人事制度が始まったが上に厚く下はあまり恩恵を受けていない。組合の調査でも多く採用している一方、退職者も多く出ている。それも自己都合退職になっている。賃上げを是非やっても構わない。夏季手当は昨年、加算額7万円だったが例年通りか。

会社・例年通りにはいかなないと思う。ベースを上げるのは大変なこと。一時金とは違う。その辺の誠意は見てほしい。いづれ代行(古川・仙台で約5億程度)がなくなればこんなことも言ってもらえない状況が目先に来ている。安全性なども求められてくる。

以上